

# 徹底 解説!

# 雨感知センサー ってどんなセンサーなの?

ティンバー農園の雨感知センサーは、自動開閉器に取り付けることで雨が降った場合に雨を感知し、自動でハウスを閉めることが可能になります。ここでは、センサーの取り付け方や、センサーとハウスの自動開閉の関連などについて解説します。

## 【雨感知センサー KS-THP1-S7】

- ・雨を感知します。
- ・ケーブル長:標準5m 延長オプションなし
- ・オプションで取付金具あり(雨風クレードル)
- ・センサー部分にヒーターが付いています。

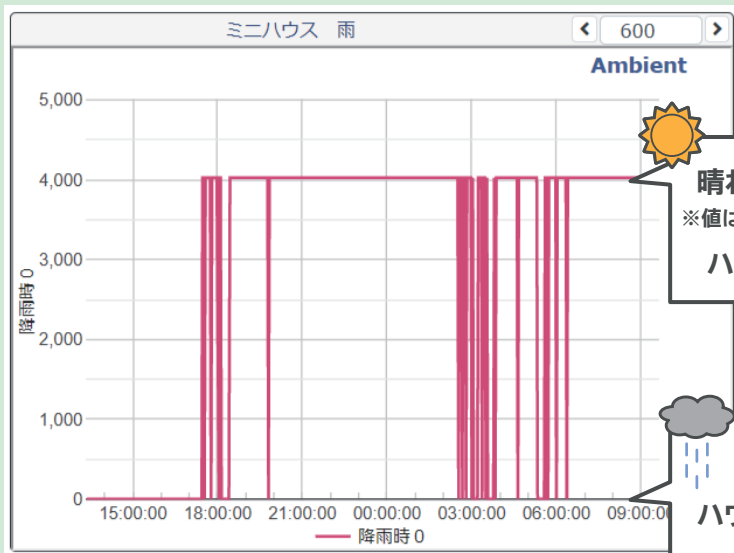


## 取り付けイメージ

雨風クレードルをハウス外のパイプなどに取り付け、雨風クレードルに雨感知センサーを固定します。



- ・雨感知センサーはセンサー上部が上になるように設置します。
- ・雨風クレードルは角度調整が可能です。
- ・雨風クレードルは丸パイプφ25に対応しています。



- ・雨を感知するとセンサーの計測値は0になり、雨を感知していない場合は計測値が4095前後になります。(値はKSWatchやAmbientなどで確認できます)
- ・雨感知センサーの計測値が0になったらハウスが「閉」方向に動きます。センサーが雨を感知しなかった場合は、ハウスが「開」方向に動きます。(出荷時の設定)
- ・センサーの計測間隔は最短で2分です。雨が降り始めてすぐにハウスが閉まり始めない場合があります。
- ・開閉限界温度の設定などによっては、雨を感知した場合でもハウスが閉まらない場合があります。